

平成23年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成23年5月24日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 10名(欠席1名)
事務局 中央公民館長、館長補佐、分館主査 10名
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成23年度公民館運営審議会計画表・・・・・・・・・・資料1
(2) 平成23年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・・・資料2
(3) 平成23年度公民館まつり日程表・・・・・・・・・・資料3
(4) 平成22年度公民館事業実績・・・・・・・・・・資料4
(5) 平成23年4月こだいら公民館だより・・・・・・・・・・資料5
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告
(4) 平成23年度公民館運営審議会計画表について(資料1)
(5) 平成23年度小平市公民館定期講座実施状況について(資料2)
(6) 平成23年度公民館まつり日程について(資料3)
(7) 平成22年度公民館事業実績について(資料4)
(8) その他について(資料5)
(9) 閉会

会議の概要

1 開会

2 配布資料の確認

3 館長報告

(1) 事業仕分けについて

昨年度に続き、事業仕分けが実施される。対象は、昭和 59 年度以降平成 10 年度以前に開始された事業になる。公民館については、「視聴覚教育事業」が対象となる。今後の予定としては、第 1 次検討として、事務局とのヒアリング・調整を済ませた。6 月頃に市民の方の意見を聞き、8 月から 10 月にかけて第二次検討を事業仕分け委員会で行う。

(2) 嘱託職員について

津田公民館の事務の嘱託職員が、一身上の都合により 4 月末日で退職した。同じく、津田公民館の管理の嘱託職員が長期に休職しているが、利用者にご迷惑がかからないよう対応していく。

(3) 節電対策について

- ・緑のカーテンの設置。
- ・5 月 23 日より職員の軽装を実施。利用者にも軽装等についての協力を依頼する。

4 平成 23 年度公民館運営審議会計画表について

資料 1 より説明。

- ・都公連総会の会場を国分寺市から昭島市に訂正。
- ・関東甲信越公民館研究大会の会場が茨城県水戸市からつくば市に、日程が 8 月 25 日から 11 月に変更。
- ・自主研修会を 6 月 14 日火曜日に開催。

5 平成 23 年度小平市公民館定期講座実施状況について

資料 2 より説明。

中央では、今回の震災の影響を受け、ボランティア講座を6月3日から7月1日まで5回で試みる。また、「友・遊」では、初めての試みとして、子どもを対象とした防災体験のイベントを企画した。

(質疑応答)

委員 津田公民館の応募が多いのはなぜか。公民館と利用者の住居が近い事などが影響しているのか。

事務局 市全体から応募があり、近さはあまり関係ない。市民の方の要望等がタイムリーに現われたものであること、企画の内容や、講師、ネーミング等が大きな要素となる。

会長 小川公民館のサタデー講座と上宿公民館の市民講座で先生が同じである。これは、たまたまなのか、この先生が人気なのか。時期が同じなので、少しずらしても良かったのでは。

事務局 偶然に重なってしまった。テーマも同じようなものなので、そこは重ならないよう配慮したい。

委員 講座の応募人数が想定より少なかった場合、講座が始まってしまっても、途中から参加したい人がいれば参加できるのか。

事務局 受講する機会を多くの方に与えたいというのが本音であり、講座の追加募集といったことも行い、募集期間を延長して、定員まで集めることに努めたい。

6 平成23年度公民館まつり日程について

資料3より説明。

仲町公民館は日程を変更して調整中であり、上宿公民館と花小金井南公民館は「東日本大震災被災者へ心を寄せよう」と題してチャリティーイベントを行う。花小金井南公民館では、南相馬市に派遣された小平市ボランティアセンターの職員から被災地の状況等30分程度の報告がある。

(質疑応答)

委員 友の会も、まつりを中止にするかどうか、大変だったと思うが、どうだったのか。

委員 花小金井南公民館は、館長が大変頑張ってくれた。公民館まつりは、今まで年配者のまつりという印象だったが、今回は、年齢とかジャンルに関係なく大勢の方が参加してくれるので、素晴らしい公民館まつりになると思う。特に友の会に負担が多く、まつりの後で辞めていく会員が多かったが、今回はそういうことがないと期待している。

委員 上宿公民館はどうか。

委員 イベント等でたくさんの方がいらっしゃると思うので、義援金を集めようと張り切っている。

委員 義援金を集めるということだが、どの部分で集めるのか。模擬店の収益金の一部なのか、演奏会等で募金箱を置くのかなど、義援金の集め方について、今後ははっきり明記したほうが分かりやすいのでは。

事務局 現時点では、受付に義援金の募金箱を置くこと、出店の売上の原価を引いた全額を寄付することが決まっている。今までは、社会福祉協議会に全額寄付していたが、今年度は東日本大震災に社協を通じて寄付する。

委員 花小金井南公民館も、上宿同様、バザーだけでなく、他の売上も寄付するということか。

事務局 バザー用品については、自治会の協力で多くの方から寄せられている。サークルも作品の販売を行い、収益については、募金に当てられるものと思われる。また、義援金に関しては、すでにサークル等から寄付が寄せられている。

委員 10月、11月にも公民館まつりがあり、多くの方はすでに募金してしまっているため、徐々に少なくなると思うが、年間を通してチャリティーを行うのか。

事務局 各公民館の利用団体と意見を交わしながら、必要に応じて、公民館まつりの運営方法を考えていく。

委員 中央はまさに3月11日に終わるので、何かしらのまとめをしてほしい。チャリティーだけでなく、防災という視点も是非入れてほしい。

事務局 いただいたご意見を参考にしながら進めていきたい。

7 平成22年度公民館事業実績について

資料4より説明。

小川公民館、小川西町公民館、大沼公民館においては、周年記念事業として講演会等を開催した。また、昨年東京都公民館研究大会があり、各分科会ごとの招待人数等を概説に載せた。

(質疑応答)

委員 13ページの夏休み学習室は、対象は小中学生というわけではないのか。

事務局 小中学生だけでなく、幅広い年代に利用してもらうよう部屋を提供している。年代別でなく総利用者数として載せている。

委員 公民館の利用者数の2、3年の推移が分かれば、今後の活動の参考にもなるので、データが欲しい。

事務局 次回から試算された資料等を添付する。昨年と比較すると、全館横ばい傾向にある。

8 その他

- ・節電対策の取り組みについて各館より報告。
- ・平成23年度東京都公民館連絡協議会研修会について。

(質疑応答)

委員 公民館に来て暗かったとか、怪我したとかということになると困るので、節電の張り紙等を徹底して欲しい。窓を開けると、これからの季節は虫が入ってきたりするの、網戸をつけたい。

事務局 網戸については予算措置の要望はしている。節電については、利用者の安全を第一に進めていきたい。

委員 扇風機の設置は考えているか。

事務局 網戸と同様に、要望はしている。既設の扇風機を活用していく。

委員 資料 5 の公民館だより 4 月号は、表紙等が新しくなり、とても見やすく、文字も読みやすくなったと思う。これは何部くらい作って、どこに置いているのか。

事務局 大体 1 万くらい印刷し、学校の職員用と地域センター、福社会館、福祉事務センター等各施設に配布している。

委員 全戸配布できないか。

事務局 コスト等を考慮すると、当面、現行の発行形式としたい。

9 閉会

次回は 7 月 12 日、13 時 30 分から開催する。